

■市長から市民のみなさんへ

市長 白井 博文



■「さあ、学校へ行こう！」が始まりました

7月1日号の18ページをご覧ください。本市の子どもたちの学校でのようすを知りたい。そうした多くの市民の声に応えて、その実情を紹介する連載が始まりました。今回は「体を動かし、声をだして、朝からすっきり!」。いかがですか。「朝体操」なんて言葉、初めて聞きました。モジュール授業では、宮沢賢治の「雨ニモ負ケズ」をグループに分かれて輪読しているのですね。

市役所でも始業時間になると、多くの課でミーティングが始まります。

■今年の「女性の日」について（予告）

10月1日は山陽小野田市の女性の日です。今年は、10月の前半が「おいでませ! 山口国体」、後半は「おいでませ! 山口大会」が入っているため、中間の10月15日(土)に山口東京理科大学を会場に、「科学へのいざない」をテーマに、本市と近郷の小学校高学年・中学・高校の女生徒を対象に、講演会と実験室見学を予定しています。講師は若い女性にお願いする予定です。「私のこれまでとこれから」と題し、いつごろから何がきっかけで科学に興味を持つようになり、それをどのように育んできたか、今何を研究していて、将来の夢は何かなどを話してもらえれば、と考えています。そして、先生方の実験室をいくつか見せていただき、出席し

た女生徒のみなさんに何かを学んでもらえることを期待しています。

■山陽消防署の建設が決まりました

7月1日の市議会本会議で、旧国道2号に隣接するFDK株式会社から用地を買収し、そこに山陽消防署を建設することが決まりました。山陽地区の安心・安全の拠点施設の建設問題が一段落しましたので、次は山陽地区の老朽化した公共施設の再編統合の調査に入ります。

■新聞の寄附をいただいています

本市には、18校の小中学校がありますが、全国紙3社の各販売店から、今年も昨年同様、どの学校にも無料で各クラスに1部ずつ、新聞を届けていただいています。中学校では朝の1分間スピーチ「今日のニュース」で活用したり、社会科の時間では新聞記事を題材として活用したりさまざまですが、教室に新聞があることで社会の出来事に関心を持つ子どもが増えたとか、休み時間に新聞を読んでいる光景をよく見かけるなどが報告されています。こうした地域のあたたかい支援のおかげで、本市の子どもたちは階段を一段ずつあがっています。

対話の日

7月21日(木) 19:00 ~
埴山自治会館